

重点取組分野	令和元年度		総括
	具体的な取組	自己評価結果	
生きてはたらく力	基礎的学習内容の定着・活用を目指し、朝学習の計画的実施や、家庭への啓蒙・指導の工夫に努める。授業力向上・教育課程再編成のため、研究授業をや力アリキュラム編成を伴う重点研究に取り組む。学習状況調査の分析を活かした授業改善を進め、年間活動計画をもとに計画的学習を進める。	朝学習が定着し、落ち着いて取り組むことができたため、学力の向上にもつながっている。今後も学習状況の分析を進め、指導に生かしたい。横浜市の方向性を受け止めつつ、教育課程編成を行った。児童、地域、職員の実態をもとに今後も教育課程編成を続けていく。	B
	道徳・特別活動の時間、各教科等の授業、たてわり活動など、学校での全教育活動において、「人・もの・こと」と豊かにかかわり合う場面を重視し、自他を大切にする心情や態度を育てる。落ち着いた生活を目指し、「生活目標の向上」「自己肯定感の向上」「環境整備」を重点項目として取り組む。	たてわり活動の内容を精選しスリム化したことで、教師が見通しをもって活動できるようにになった。身に付けさせたい力をしづらし、6年間にかけて育てたい児童像を職員が共有し、目指す姿を具体的にすることを確保していく。	B
豊かな心	重点研で培った体育授業において指導を工夫し、運動の楽しさ、大切さを感じながら健康・体力作りに進んで取り組む意識を高める。学校保健委員会の開催方法を工夫し、学校生活全般を通して心と体の健康について考える場を設ける。一校一実践運動を通して、体力向上を目指す。	保護者からのアンケートでも、児童が健康に過ごそうとしている様子がうかがえる。日々の学習に加え、「とよだ元気会議」を通して「誰もが居心地の良いクラスづくり」について、学級だけでなく学校全体として考えることができた。	B
	学校のきまりについて、全職員で共にして指導にあたる。児童支援専任を中心として組織的に対応し、児童の安全や安心に努めた。定期的に児童理解の場を設け、学校全体としての取組も強化し、「キラッと輝く☆豊田っ子」の育成を目指している。組織としての高まりに伴って、今後も個々の児童指導のスキルアップも行う。	児童支援専任を中心として組織的に対応し、児童の安全や安心に努めた。定期的に児童理解の場を設け、学校全体としての取組も強化し、「キラッと輝く☆豊田っ子」の育成を目指している。組織としての高まりに伴って、今後も個々の児童指導のスキルアップも行う。	A
地域連携	TSC(豊田小学校支援本部)を核とした九つの学校支援隊など、地域の教育力を生かした教育を推進する。また、学校の新しい情報提供のため、学校ホームページの定期的な更新に努める。	地域の教育力を生かした教育が進められているとの評価を保護者アンケートでいただいた。教育課程編成を行っていく中、新しく取り組む活動や今までと変化していく活動について、学校の要望を明確にし、支援の方法について考え、よりよい学校づくりを心掛けたい。	A
	一般級と個別支援級の連携強化に向けて打ち合わせを密に行い、子どもたちが自信をもって自己表現できるようコミュニケーション力向上を図る。配慮をする児童の実態を把握し、SCや療育センターなど関係機関と連携して適切な支援を行う。特別支援教室を整備し、取り出し指導の充実を図る。	SCや療育センターなど関係機関との連携強化に努め、職員の意識が高まった。特別支援教室の装飾を支援隊の方々に協力していただき、児童にとって居心地の良い教室作りができた。一般級と個別支援級の連携強化にさらに努めたい。	B
特別支援教育	「豊田っ子タイム」等の探究的学習を通じ、子どもも自ら学び続ける意欲や思考力を育てる。また、遠足・社会見学・鑑賞教室(各年・宿泊体験学習を通して、社会や自然の中にある本物に触れ、自分づくりにつながる資質(物事に主体的に関わるうとする姿勢、創造する力、自分らしさの発見)を育む。	「豊田っ子タイム」では、様々な取組を行っており、これらの体験は児童の意欲を高めている。学級総合の取組については、環境づくりが必要なことから、教育課程編成にも生かしていくと考えている。	B
	「豊田っ子タイム」では、例年とは違う制限があったが、コロナ禍の状況の中で実施できなかったが、ワンドー、パトロール隊、グリーン支援隊などの地域の方の協力を頂き、活動を行ってきた。TSCなどの地域資源を生かした教育を図ることが難しい状況であった。このような中でも、学校ホームページにより日々の教育活動の情報を発信することができた。今後も定期的な更新に努め、教育活動を積極的に発信させていく。	コロナ禍の状況の中で実施できなかったが、ワンドー、パトロール隊、グリーン支援隊などの地域の方の協力を頂き、活動を行ってきた。TSCなどの地域資源を生かした教育を図ることが難しい状況であった。このような中でも、学校ホームページにより日々の教育活動の情報を発信することができた。今後も定期的な更新に努め、教育活動を積極的に発信させていく。	B
自分づくり教育	月1回定期的にいじめ防止対策委員会を実施し、気になる児童や認知された案件の経過確認を丁寧に行なうことで未然防止や早期発見、再発防止に努める。振り返りカードや児童アンケート、YPアセスメントにより些細な変化を見逃さない体制づくりを強化する。	年2回のYPアセスメントと研修、年1回のいじめ防止アンケート、月1回のいじめ防止対策委員会の実施を通して、職員の意識が高まり、組織的にいじめは絶対に許さない取組が行われた。保護者アンケートでも高評価をいただいている。	B
	日常的に授業を見合い、授業改善・児童指導双方の実践力を高めたり、課題の解決に向けて組織的に危機管理対応・児童指導・コンプライアンスに対応できるよう研修したりする。また、個々の教職員の経験や専門性を生かしてチーム力を上げ、学校運営を進める。教育課程の精選・見直しを行い、子どもの育成に関わる時間を確保する。	学習、安全、健康といった日々の学校生活を充実させるために検討・準備等を行なった。「キラッと輝く☆豊田っ子」を目指しているが、人の・時間的なゆとりではなく、児童の育成にかかる時間を、勤務時間内に確保できる教育課程を編成していくと考えている。	B
ブロック内評価後の気付き	夏の小中合同研修会では、特別支援教育についての情報交換を行い、その後の人権研修としてハンセン病から人間の尊厳や命を大切にすることの本質を学習し、子どもたちへの教育につながる人権意識の再確認をした。また、2月の小中一貫職員交流会では、「自分づくりに関する力」「問題発見・解決能力」に視点を当て、日々の授業を振り返り、これからも大事にしている教育活動について話し合なうことができた。豊田中学校ブロックでの9年間で育てたい資質・能力の視点を再確認し、より改善していくために次年度へつなげることができた。	昨年度の取組を踏まえ今年度も計画を予定していた「人権教育の小中合同研修会」「相互の授業参観及び職員交流」については、実施することができなかった。各学校で、新教育課程の研修をする形となつた。「自分づくりに関する力」「問題発見・解決能力」に視点を当てた豊田中学校ブロックでの9年間を見通した教育課程の改善と職員交流については、コロナ収束後、改めて計画することとする。	B
	豊田小学校は良好といえる声が多いとの声をいただいた。併せて昔から地域と学校の関わりが繋がっている部分もとても良いとの評価であった。最近、問題となるいじめへの対応や授業についていけない児童への対応などの教師に掛かる負担・気苦労による教師の体調不良が起きはしないかが心配のことであった。また、放課後、公園等で遊んでいる子どもの姿が減ってきてているよう、児童の減少が気になることであった。	今年度の「学校づくり(保護者)アンケート」の結果では、「お子さんは、自分や友達を大切にしようとしている。」が、A、Bの割合99パーセントであった。また、コロナ禍の状況で、新たに追加した評価項目「お子さんは、安心して学校に通うことができている。」でも、A、Bの割合が96パーセントであった。コロナ禍において、状況に応じた対策を行ながらも、重点取組分野の取り組みの成果が、子どもたちの姿を通して、保護者に伝わったものと考える。また、見守り隊をされている方よりの感想では、学年に関わらずしっかりと接拶できる子が三分の一は居て、お礼の挨拶が出来る子がいることに驚きとお手伝いし	B
中期取組目標振り返り	子ども達の安心・安全にかかわる部分においては、児童支援専任を中心に組織的な対応ができるしており、学校評価も良いので、さらに職員個々のスキルアップに努めたい。学習については、一人ひとりの子どもが、もの、こと豊かにかかわり、じっくりと考えながら学べる学習のあり方を重点研を中心と追跡してきた。今後も、育てたい資質・能力「自分づくりに関する力」「問題発見・解決能力」を意識し、教育課程を精選しながら、より子ども自身が学習の楽しさや自他の成長を実感できる授業づくりを目指す。地域の教育力を生かした学校づくりでは、高い評価を得られた。	子ども達の安心・安全にかかわる部分においては、児童支援専任を中心に組織的な対応ができるおり、学校評価も良いので、さらに職員個々のスキルアップに努めたい。学習については、一人ひとりの子どもが、もの、こと豊かにかかわり、じっくりと考えながら学べる学習のあり方を重点研を中心と追跡してきた。今後も、育てたい資質・能力「自分づくりに関する力」「問題発見・解決能力」を意識し、教育課程を精選しながら、より子ども自身が学習の楽しさや自他の成長を実感できる授業づくりを目指す。地域の教育力を生かした学校づくりでは、高い評価を得られた。	B
	基礎的学習内容の定着・活用を目指し、朝学習の計画的実施や、家庭への啓蒙・指導の工夫に努める。授業力向上・教育課程再編成のため、研究授業をや力アリキュラム編成を伴う重点研究に取り組む。学習状況調査の分析を活かした授業改善を進め、年間活動計画をもとに計画的学習を進める。	朝学習が定着し、落ち着いて取り組むことができたため、学力の向上にもつながっている。今後も学習状況の分析を進め、指導に生かしたい。横浜市の方向性を受け止めつつ、教育課程編成を行なった。児童、地域、職員の実態をもとに今後も教育課程編成を続けていく。	B
豊かな心	道徳・特別活動の時間、各教科等の授業、たてわり活動など、学校での全教育活動において、「人・もの・こと」と豊かにかかわり合う場面を重視し、自他を大切にする心情や態度を育てる。落ち着いた生活を目指し、「生活目標の向上」「自己肯定感の向上」「環境整備」を重点項目として取り組む。	たてわり活動の内容を精選しスリム化したことで、教師が見通しをもって活動できるようにになった。身に付けさせたい力をしづらし、6年間にかけて育てたい児童像を職員が共有し、目指す姿を具体的にすることを確保していく。	B
	重点取組分野	令和2年度 具体的な取組 自己評価結果	総括
健やかな体	重点取組分野	令和2年度 具体的な取組 自己評価結果	総括
	健やかな体	基礎的学習内容の定着・活用を目指し、学習状況調査の分析を活かして、重点を置く内容等を検討する。新学習指導要領のもと、実態に合った教育課程編成をしてカリキュラムマネジメントを進める。一部教科担任制等を取り入れて授業力の向上に努め、ブロックでの情報交換や教材開発を行う。	B
児童・生徒指導	重点取組分野	令和2年度 具体的な取組 自己評価結果	総括
	児童・生徒指導	休業中の宿題等に学習状況調査を活用できた。コロナのため授業時数が限られたことで、指導内容・方法を検討した。また、多くの行事ができなかつたことでの課題と新しいやり方を見えてきた。一部教科担任制を実施したことで、教材研究と児童の共通理解が深まつた。	B
地域連携	重点取組分野	令和2年度 具体的な取組 自己評価結果	総括
	地域連携	各教科・領域、特に重点研究で取り組む道徳教育、たてわり活動など、全教育活動において、「人・もの・こと」と豊かにかかわり合う場面を重視し、自他を大切にする心情や態度を育てるところを目指す姿を具体的にすることを目標とした。コロナ禍でも密にならずにできる交流活動を考え、アイデアブックをつくなどてわり活動に代わるものを探した。TV放送や手紙などを活かし、心の交流を大切にしてきた。	A
特別支援教育	重点取組分野	令和2年度 具体的な取組 自己評価結果	総括
	特別支援教育	体育授業において指導を工夫し、運動の楽しさ、大切さを感じながら健康・体力作りに進んで取り組む意識を高める。学校保健委員会の開催方法を工夫し、学校生活全般を通して心と体の健康について、年間を通して考える場を設ける。	B
自分づくり教育	重点取組分野	令和2年度 具体的な取組 自己評価結果	総括
	自分づくり教育	児童報告会やブロック会議により、児童の状況を把握し、児童が自分や友達を大切に理解するように努めた。児童が自分や友達を大切にしながら学校生活を送れるように指導・支援をした。保護者アンケートでも高い評価をいただいた。今後も学校のきまり、児童の心のケアについて全職員で共有し、個々の児童指導のスキルアップも行っていく。	A
いじめへの対応	重点取組分野	令和2年度 具体的な取組 自己評価結果	総括
	いじめへの対応	児童報告会やブロック会議により、児童の状況を把握し、児童が自分や友達を大切に理解するように努めた。児童が自分や友達を大切にしながら学校生活を送れるように指導・支援をした。保護者アンケートでも高い評価をいただいた。今後も学校のきまり、児童の心のケアについて全職員で共有し、個々の児童指導のスキルアップも行っていく。	B
人材育成・組織運営(働き方改革)	重点取組分野	令和2年度 具体的な取組 自己評価結果	総括
	人材育成・組織運営(働き方改革)	月1回定期的にいじめ防止対策委員会を実施し、気になる児童や認知された案件の経過確認を丁寧に行なうことで未然防止や早期発見、再発防止に努める。振り返りカードや児童アンケート、YPアセスメントにより些細な変化を見逃さない体制づくりを強化する。	B
ブロック内評価後の気付き	重点取組分野	令和2年度 具体的な取組 自己評価結果	総括
	ブロック内評価後の気付き	月1回定期的にいじめ防止対策委員会を実施し、気になる児童や認知された案件の経過確認を丁寧に行なうことで未然防止や早期発見、再発防止に努める。児童との面談やアンケート、YPアセスメントにより些細な変化を見逃さない体制づくりを強化する。	B
学校関係者評価	重点取組分野	令和2年度 具体的な取組 自己評価結果	総括
	学校関係者評価	月1回定期的にいじめ防止対策会議を実施し、気になる児童や認知された案件の経過確認を丁寧に行なうことで未然防止や早期発見、再発防止に努めた。職員間の意識はとても高まり、共通理解したうえで指導・支援を行なった。	A
中期取組目標振り返り	重点取組分野	令和2年度 具体的な取組 自己評価結果	総括
	中期取組目標振り返り	月1回定期的にいじめ防止対策会議を実施し、気になる児童や認知された案件の経過確認を丁寧に行なうことで未然防止や早期発見、再発防止に努めた。職員間の意識はとても高まり、共通理解したうえで指導・支援を行なった。	B